

企画展



**「パンと昭和」展**  
4月1日(金)～2017年8月末  
パンは戦前まではおやつでした。主食としては、兵食や戦争中の代用食に取り入れられましたがあくまで米の代わりでした。それが戦後にすっかり変わりました。最初は米国からの援助物資、次は学校給食としてパンにミルクが提供され肉類を中心とする食生活が洋風になりました。パンは米と並び主食になりました。こうした米からパンへの道筋を戦後の歴史の中でみていくのがこの「パンと昭和」展です。

特別展・ミニギャラリー展



**「小泉知代ろうけつ染作品」展**  
～7月 12月～2017年7月  
小泉家4姉妹の次女、「知代ちゃん」。化粧品会社でパッケージデザイナーとして働いた後、ろうけつ染めをしていました。彼女がのこした繊細で情緒あふれる美しい作品を展示します。



**「武者絵のおかけじ」展**  
4月1日(金)～5月29日(日)  
“おかけじ”とは、北関東で子供の初節句や初正月に幼子の健やか成長を祈って親戚などが贈った縁起絵です。素朴で勇壮な武者絵の数々をご紹介します。



**「小泉家に残る戦争」展**  
7月29日(金)～8月28日  
「戦争は二度としてはいけない日(日)」そう言い続けるために毎年夏に開催する特別展です。会期中は、茶の間や子供部屋など館内全体で戦時下の暮らしを体験できます。

**ギャラリートーク**  
8月21日(日) 14:00～16:00  
「戦中戦後のパンのおはなし」  
トーク＆電極パンと代用食パンの試食  
8月14日(日)、27日(土) 14:00～15:00  
「その時、小泉家は」  
戦争体験者のトーク＆代用食パンの試食



**「利根山光人 ヒロシマ・ナガサキ・南京」展**  
7月29日(金)～9月25日(日)  
メキシコ美術や古代遺跡に魅せられ、風土性豊かなスケールの大きな作品を多く残し、太陽の画家と呼ばれた利根山光人。生命力に充ちた作品の創作の原点は、戦後の絶望と再生への希望でした。“戦中派”として生涯もがき、描き続けた利根山の戦争証言である版画シリーズです。



小泉和子館長著『昭和な暮らし方』出版記念  
**「昭和な暮らし方 衣と食」**  
9月30日(金)～11月27日(日)  
昭和の暮らし博物館館長の小泉和子による『昭和な暮らし方』の出版を記念して、特別展「古布からうまれるステキなファッション」展とトーク＆セッション「“昭和な暮らし方”に学ぶ知恵」を開催します。「衣」の展示と「食」のトーク＆セッションをとおして、現代の暮らし方をもう一度見直してみませんか。  
**特別展**  
—古布からうまれるステキなファッション  
着物などの古布を洋服やバッグ、のれんなどにステキに再生した作品を展示します。会期中に古布を利用したワークショップも開催します。(10月30日/11月13日)  
トーク＆セッション  
—“昭和な暮らし方”に学ぶ知恵  
10月8日(日) 14:00～15:30  
戦後の食の歴史をひも解きながら、切っても切り離せない食の安全と暮らしの安全について、環境問題ジャーナリストの天笠啓祐さんにお聞きします。



**「楽しい 懐かしい 羽子板」**  
12月～2017年1月29日(日)  
明治、大正、昭和の、モダンな図柄の羽子板が約40点。中原淳一風、松竹歌劇団や断髪少女など、当時の流行をしるべせる可愛い絵柄の羽子板を展示します。



**「おかけじの雛まつり」**  
2017年2月3日(金)～3月26日(日)  
雛飾りのおかけじは、北関東の家々で少女の無事な成長と幸せを祈って掛け並べられたものです。大量生産品ですが、素朴で趣深い庶民絵画です。

座敷のきもの展



4月 春のきもの  
5月 初夏のきもの  
6月 盛夏のきもの  
8月 戦時中のきもの  
9月 秋のきもの  
12月～1月 お正月のきもの  
2月 冬のきもの  
3月 春のきもの  
博物館の季節を彩る着物の展示は、お正月・春・初夏・盛夏・初秋・晩秋・冬の季節に合わせ、専門のボランティアが毎回、新しい構成で展示しております。生地や仕立て、柄のニュアンスは当時の生活風景を伝えてくれます。

講座



小泉和子が語る家具の歴史  
**「和家具の面白さ～日本の家具・インテリアを代表する棚の歴史」**  
6月11日(土)  
15:00～17:00



**くらしの学校**  
5月28日(土)「かんたん野草茶づくり」  
6月25日(土)「おはぎ作り」  
7月23日(土)「布の再生-洗い張り」  
12月3日(土)「障子張り」  
1月28日(土)「繕い物」  
3月19日(日)「石見銀山の箱寿司」

登録文化財・昭和の暮らし博物館の昔ながらの建物と道具を使い、衣食住の昭和の知恵を学び、伝える講座です。12講座修了者は「昭和くらしの伝承士」として認定します。

**火鉢を囲んで建築の歴史**  
2017年2月の毎週土曜日(全4回)  
第一線で活躍する建築の先生方をお迎えし、身近な建築に関する最新の研究と話題を写真を交えてわかりやすくお話しします。

**定期講座「古文書講座」**  
1年に春・秋・冬の3回開設している講座です。少人数ながら熱心な講師と受講生が集う内容の濃い講座です。講師は元NHK学園講師の桜井由幾先生です。

**お茶の間会**  
「いもはんこ講座」11月or12月(予定)  
さつまいもではんこを作って年賀状を作ります。

まち歩きツアー

昭和のくらし博物館周辺には隠れた名所や旧跡がたくさんあります。これをガイドの方と巡り体験するツアー「まちごとミュージアム」を開催します。詳しくは、ホームページに掲載します。どうぞご参加ください。

10月22日(土) 14:00～16:00  
**「給食と揚げパンとミルク」**  
企画展「パンと昭和」関連トーク第2弾！パンと街を味わいながら揚げパン発祥の地・鶏の木を巡るギャラリートークです。

11月26日(土) 13:00～16:00  
**「昭和レトロ建築～久が原の名建築を訪ねて」**  
戦前から文化人たちが多く住んだ久が原の町。建築家・山口文象が昭和15年に設計し、当時の交流サロンでもあった自邸「クロスクラブ」や炭ギャラリーを特別見学し、知られざる町の魅力を発見するツアーです。

12月17日(土) 14:30～16:30  
**「ジモト妄想トリップ～シャーマン“シン”」**  
古代人たちの住宅地でもあった！？久が原。冬至近いこの日、太陽の動きを捉えながら古代のくらしを妄想しつつ千鳥町駅から南久が原地区を巡る、妄想タイムトリップです。町歩き後には交流会も予定しています。

3月 13:00～15:00  
**「隠れ梅の里の早春ツアー」**  
(大田・品川)まちめぐりガイドの会と共催  
3月の初め頃にだけ、忽然と現れる梅の名所がご近所にあります。知られざる梅の里を巡り特別公開のお雛さまを見学します。

体験学習



**すり鉢体験・洗濯体験(要予約)**  
すり鉢とすりこぎを使って、ピーナッツバターを作る、たらいと洗濯板で汚れた靴下を洗う体験をとおして、道具の使い方や手仕事の進め方を学びます。

お申込み・お問合せ先

**昭和のくらし博物館**  
大田区南久が原2-26-19  
TEL 03-3750-1808  
(金～日曜日・祝日10～17時)  
MAIL  
mail@showanokurashi.com  
URL  
http://www.showanokurashi.com

・開催内容や日程等が変更になる場合があります。  
・最新情報はホームページをご覧ください。